








※ 現時点での検討案であり、今後変更があり得ること。

資料2








令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目

令和3年11月24日 盛岡広域振興局

施策項目	1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります(保健福祉) 2 豊かな環境が享受され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります	
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs
【こころの健康づくりの推進】 (現状) 盛岡広域において、10代～40代の自殺死亡率が高い傾向 ⇒ (課題) 子どもや働き盛り世代の自殺防止に向けた取組が必要	1 子ども・働き盛り世代に対する支援 (1) 教職員等向けに、子どものSOSの受け止め方に関する研修を実施 (2) 事業所等でのメンタルヘルス講座の実施 2 自殺対策ネットワーク連絡会の開催	
【安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進】 (現状) 生活困窮世帯の子どもは大人になっても再び生活困窮に陥る傾向 ⇒ (課題) 子どもが学習する「居場所」の提供が必要	1 子どもの学習・生活支援事業 (1) 公民館等での学習会、学習合宿の開催 (2) 小学生のいる世帯に対する巡回訪問型の学習・生活支援  <p>学習会の様子</p>	 
【いきいきと暮らす地域づくりの推進】 (現状) 医療職及び介護職の人材不足が顕著 ⇒ (課題) 子どもに対して、進学にあたっての動機づけが必要	1 医療介護出前講座の実施(人口減少) 地域の医療機関等で働いている看護師、介護職員等が講師となって、中学校に出向いて、仕事の内容、やりがいを伝える。	 
【多様で豊かな環境の保全・保護の推進】 (現状) 盛岡広域には、森、川、里など豊かな自然環境が存在 ⇒ (課題) グリーン社会の実現に向け、豊かな自然と触れあい守り育てていくことの大切さについて、次世代への伝承が必要	1 環境学習の充実(グリーン) りばーくんの郷づくりパートナーに対するスキルアップ研修の実施 ※ 環境保全の取組を推進するため、養成研修の修了者を地域の環境保全活動の中心的役割を担う人材として「りばーくんの郷づくりパートナー」に認定 2 環境保全活動のネットワーク化(グリーン) 「環境保全活動事業連携促進集会～みんなでつくる水と緑の流域」の開催	   




令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目

令和3年11月24日 盛岡広域振興局

施策項目	3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)		SDGs
<p>【移住定住の促進】 (現状) 県内の移住者数、相談件数はともに増加傾向 ⇒ (課題) 盛岡広域への移住に向け、潜在的な移住希望者の更なる掘り起こしが必要</p>	<p>1 盛岡エリア移住相談会の開催 (人口減少) SNS 広告等を活用しながら、盛岡広域の8市町と共同で盛岡エリアへの移住相談会を開催</p> <div data-bbox="819 611 1070 810" data-kind="parent">  </div> <div data-bbox="1151 611 1532 802" data-kind="parent">  </div>		<div data-bbox="1823 592 1944 703" data-kind="parent">  </div>
<p>【若者視点を生かした地域づくり】 (現状) 岩手大学、県立大学等の多くの学生が様々な活動を行い、地域づくりに関心 ⇒ (課題) 若者(学生)の力を生かした地域の活性化が必要</p>	<p>1 学生との連携による地域づくりの推進 (人口減少) 岩手県立大学の学生と連携し、矢巾温泉などをフィールドとして、地域活性化に向けた検討会・成果発表会を開催 ※ 令和3年度は日詰商店街をフィールドとした検討会・成果発表会を開催</p> <div data-bbox="806 1066 1115 1246" data-kind="parent">  </div> <div data-bbox="1223 1066 1473 1254" data-kind="parent">  </div>		<div data-bbox="1771 938 1888 1054" data-kind="parent">  </div> <div data-bbox="1899 938 2002 1054" data-kind="parent">  </div>

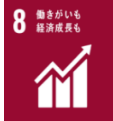







令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目







令和3年11月24日 盛岡広域振興局

施策項目	4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます 5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくれます 11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs	
【治水安全度の向上及び土砂災害の防止】 (現状) 豪雨に伴う災害が激甚化、頻発化 ⇒ (課題) 洪水・土砂災害による被害軽減のため早期の防災施設整備が必要	1 河川の氾濫による浸水被害を未然に防止するための河川整備 木賊川(盛岡市、滝沢市)、北上川(盛岡市、岩手町)、松川(盛岡市) 2 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備推進 山岸地区(盛岡市) 高森の沢、上鶴飼の沢(滝沢市) 平笠東沢、スキー場南沢(八幡平市)	 	
【災害に強い社会資本の整備】 (現状) 多くの橋梁が老朽化 ⇒ (課題) 災害時の避難、救援活動等を迅速に行うため、橋梁の整備、耐震化が必要	1 市町村道整備事業に対する技術的支援 昇瀬橋(雫石町事業) ※ 事業期間: 平成28年度～令和5年度 ※ 工事監督業務に職員が同席し、専門的なアドバイスを行うなどの技術的支援を実施 2 緊急輸送道路の橋梁耐震補強 都南大橋、夕顔瀬橋(盛岡市)		
【高次都市機能の充実】 (現状) 盛岡市街地で交通混雑が慢性化 ⇒ (課題) 混雑解消に向け街路の整備が必要	1 交通混雑を解消する街路の整備 都市計画道路盛岡駅本宮線(杜の大橋: 盛岡市) ※ 事業期間: 平成23年度～令和7年度 ※ 令和3年3月に上部工工事契約 ※ 令和3年10月に上部工工事本格着手	 	
【医療機関への救急搬送ルートへの整備】 (現状) 岩手医科大学の移転に伴い都市構造が変化 ⇒ (課題) 岩手医科大学への広域的なアクセス向上が必要	1 岩手医科大学附属病院へのアクセス道路の整備 一般県道大ケ生徳田線(徳田橋: 盛岡市、矢巾町) ※ 事業期間: 平成23年度～令和10年度(令和5年度供用開始予定) ※ 令和3年8月に下部工が全て完成 ※ 令和3年9月に上部工工事本格着手	 	

令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目







令和3年11月24日 盛岡広域振興局


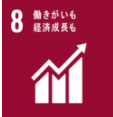

施策項目	6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組みます 10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことのできる労働環境の整備を進めます	
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs
【企業集積の推進】 (現状) 盛岡広域には、大学やIT関連企業が集積しており、令和2年度には、ヘルステック・イノベーション・ハブを開設 ⇒(課題) IT関連企業、ヘルスケア関連産業の一層の振興が必要	1 盛岡広域エリアにおける産業の活性化(人口減少・DX) 管内8市町と連携し、DX、ヘルスケア関連産業の育成や企業間連携を促進 2 企業間連携及びIoT導入の促進(人口減少・DX) (1) 連携コーディネーターの設置により、ヘルスケア関連産業を含めた企業間連携等を促進 (2) 中小企業等を対象に、IoT機器の貸出等により、DXを促進	 
【地域産業を支える人材の確保・育成】 (現状) 高校生の管内就職率、大学生の県内就職率はともに目標よりも低い水準 ⇒(課題) IT関連人材を始め、地域産業を支える人材の確保が必要  キャリア教育の様子	1 「岩手県学生デジコン! 2022」への参画(人口減少・DX) コンテストへの参画により、IT人材育成・確保への働きかけを実施 2 新卒人材と県内企業のマッチング促進(人口減少・DX) 学生・教員等とIT関連企業との企業説明情報交換会を開催 3 キャリア教育の促進(人口減少・DX) (1) 大学生等に対して、企業経営者や若手社員による地域を志向したキャリア教育を実施 (2) 企業ガイドブックを作成し、就職を支援	  
(現状) 県内の建設企業では若手の技術者・技能労働者、女性入職者が少ない傾向 ⇒(課題) 若者・女性が働きやすい建設業界の魅力の発信が必要	1 管内中学生を対象とした建設現場見学と体験学習の実施(人口減少) 2 女性入職希望者と女性技術者の意見交換会の実施(人口減少)	 

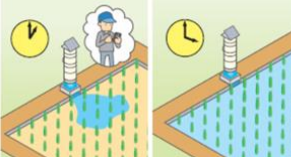





施策項目	7(1) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(観光産業)		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs	
<p>【魅力ある観光地づくりの推進】 (現状) 「いわて旅応援プロジェクト」や各市町の宿泊割等が宿泊施設を下支え ⇒ (課題) マイクロツーリズムの推進から段階的な広域周遊観光の促進が必要 ⇒ (課題) 感染症の収束を見据え、県外でのプロモーションが必要</p>	<p>1 酒蔵等を活用した広域周遊観光の促進 花巻・二戸・宮古エリアの隣接圏域と連携して「酒蔵めぐりスタンプラリー」を実施</p> <p>2 酒蔵をめぐり旅行商品造成の促進 盛岡広域エリアを中心とした酒づくり文化に地域の観光資源(食・歴史文化等)を盛り込んだ「酒蔵めぐりツアー」旅行商品の造成を促進</p> <p>3 首都圏でのプロモーション 管内市町と連携して、首都圏で「盛岡広域観光物産フェア」を開催</p>		
<p>(現状) 県内の教育旅行は、首都圏や北海道からの入込数が大幅に減少 ⇒ (課題) 県内外からの誘客促進のため、新たな教育旅行プログラムの開発が必要</p>  <p>地熱を使ったバジル栽培</p>	<p>1 県北エリアと連携した教育旅行誘致の促進 御所野縄文博物館、I G Rと連携して「環境」をテーマとする教育プログラムのプロモーションを実施</p> <p>2 宮古エリアと連携した教育旅行誘致の促進 宮古エリアの関係機関と連携して「SDGs」の様々な観点をテーマにした教育プログラムを開発するとともに、受入態勢整備に向けたガイド研修会等を開催 (例) 「八幡平市の地熱」と「宮古市田老の防災まちづくり」</p>	 	
<p>【国際観光の推進】 (現状) 新型コロナの影響で、インバウンドの入込の本格的な回復には時間が必要 ⇒ (課題) 将来的なコロナ収束を見据えた段階的な事業展開が必要</p>	<p>1 台湾からの教育旅行の誘致 雫石町をモデル地域としたモニターツアーを新たに実施し、誘致に向けた課題を整理した上で、教育旅行の誘致を促進</p> <p>2 グリーンツーリズムの受入体制強化 (1) 農家民宿、観光農園を主軸とするインバウンド受入セミナー、食の匠料理伝承セミナーの新たな開催 (2) 産直マップ(繁体字)の作成</p>	 	











令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目

令和3年11月24日 盛岡広域振興局

施策項目	7(1) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(観光産業)		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)		SDGs
<p>【スポーツツーリズムの推進】 (現状) 令和4年度に「日本スポーツマスターズ2022いわて大会」「いわて八幡平白銀国体」が本県で開催 ⇒(課題) おもてなしの提供とともに、大会の場を活用した盛岡広域の魅力の発信が必要</p>	<p>1 「日本スポーツマスターズ2022いわて大会」「いわて八幡平白銀国体」におけるおもてなし・情報発信 開会式や宿泊施設での歓迎イベントや観光物産PRの実施(横断幕の掲出、郷土芸能の披露、ブースでの観光物産情報の発信等) ※ 本庁事業と連携しながら、局独自の取組を実施</p> 		
<p>(現状) 盛岡広域管内の市町では、魅力的なサイクルツーリズムの取組を推進(八幡平市、雫石町、葛巻町) ⇒(課題) これらの取組のトータルコーディネートによる、サイクリストの誘客及び観光消費額の拡大が必要</p>	<p>1 盛岡エリアとしてのサイクルツーリズムの推進 (1) サイクリングの適地として、盛岡エリアの魅力を発信するため、シンポジウムを開催 (2) シンポジウムに併せて、サイクルルートの試走やIGRと連携したサイクルトレインの実証実験について検討</p>  		 

施策項目	7(2) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(食産業)		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs	
<p>【飲食店の支援】 (現状) 県内店舗数の大半を占める盛岡エリアの飲食店の多くの売上が減少 ⇒ (課題) 観光分野と連携した取組により、コロナ収束後の消費のV字回復が必要</p>  <p>♡♡♡ 👤 ました さん、他10人が「いいね！」しました 職場の愉快な仲間たちで買切りランチ。いつもママさんがこだわりの、焼きを頂く 10月14日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「いわて飲食店安心認証」認証店舗SNS投稿キャンペーン 「いわて飲食店安心認証制度」の認証を受けた飲食店の料理などの画像をSNSに投稿した参加者に、抽選で特産品等をプレゼントするキャンペーンを実施 2 盛岡広域エリア周遊促進特典つき小冊子の発行 秋田県鹿角地域との連携により、特典付き小冊子の観光パスポートを発行し、夏・秋の周遊旅行と消費拡大を促進 3 飲食店・宿泊施設での「銀河のしずく」キャンペーンの実施 「銀河のしずく」の利用拡大を通じて飲食店、宿泊施設の集客を促進 	 	
<p>【販路拡大の推進】 (現状) 新型コロナ等により国内マーケットに大きな影響 ⇒ (課題) 競争力の確保のため、売れる商品づくりや新たな販路開拓が必要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 商談会等の開催 (1) 食産業事業者を対象とした商談会の開催 (2) 若手職人の工芸作品を紹介する展示商談会、工房見学会の開催 2 台湾との取引の拡大 台湾台中市の高級スーパー「裕毛屋」とのネットワークを生かし、台湾裕毛屋「岩手県物産展」を開催 		

施策項目		8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます	
現状・課題		令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs
<p>【生産性・市場性の高い産地づくり】 (現状) 農業就業人口の減少と高齢化が進んでおり、労働力不足が深刻化 ⇒(課題) 先端技術の導入による、労働生産性の向上が必要</p> <div><div><p>園場水管理システムの園場への給水</p><p>▲遠隔地でスマホ操作 ▲設定水位になれば自動停止</p></div><div><p>自動水管理システム</p><p>農作業ロボット (TakiRobo G1)</p></div></div>		<p>1 水稻におけるスマート農業技術の普及促進 (人口減少・DX)</p> <p>(1) 自動水管理システムの実証展示</p> <p>(2) 「銀河のしずく」生産の省力化技術の普及推進</p> <p>2 施設園芸における環境制御技術の普及推進 (人口減少・DX)</p> <p>専門家による指導強化と盛岡地域環境制御技術研究会の活動支援</p> <p>3 果樹経営体における省力化技術の普及推進 (人口減少・DX)</p> <p>地元企業との連携による作業ロボット (運搬補助等) の現地実証・検証</p> <p>4 畜産分野における先端技術の普及推進 (人口減少・DX)</p> <p>(1) 「八幡平市繁殖・育成センター」と連携した技術の実証展示</p> <p>(2) 管内公共牧場における省力化技術の実証展示</p>	<div><div><p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p></div></div>
<p>【担い手の育成・確保】 (現状) 農業就業人口の減少と高齢化が進んでおり、労働力不足が深刻化 ⇒(課題) 職業選択前に農業への関心を促す取組が必要</p>		<p>1 若い世代向けのスマート農業学習会の開催 (人口減少・DX)</p> <p>(1) 小中学生を対象とした体験学習会 (出前授業) の開催</p> <p>(2) 高校生向けスマート農業等実践研修会の開催</p>	<div><div><p>4 質の高い教育をみんなに</p></div><div><p>8 働きがいも経済成長も</p></div><div><p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p></div></div>

施策項目	9 森林資源の循環利用促進ととうかる林業・木材産業の構築を進めます		
現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容(検討案)	SDGs	
<p>【担い手の育成・確保】 (現状) 盛岡広域の林業従事者数の減少が継続 ⇒ (課題) 「林業＝4K (キツイ・危険・汚い (カッコ悪い) ・孤独)」の払拭が必要 ⇒ (課題) 福祉分野等との連携による労働力の補完が必要</p> <div></div> <p>林福連携</p>	<p>1 <u>新技術の活用による「キツイ」の払拭支援 (人口減少)</u> 林業用アシストスーツによる労働強度軽減効果のモニタリングを実施</p> <p>2 <u>イベント開催による「危険+孤独」の払拭支援 (人口減少)</u> 盛岡地方版伐木チャンピオンシップの開催により、安全作業に対する意識醸成を図るとともに、林業従事者同士の交流を促進</p> <p>3 <u>安全かつカッコイイ装備の貸与等による「危険+汚い(カッコ悪い)」の払拭支援 (人口減少)</u></p> <p>4 <u>林福連携の促進 (人口減少)</u> 障がい者・生活困窮者の試験雇用に向け、林業事業体とのマッチングを実施</p>	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	
<p>【地域材の利用促進】 (現状) 豊富なアカマツ材や広葉樹材は、乾燥・加工技術の向上により、建築用材としての利用が可能 ⇒ (課題) グリーン社会の実現に向け、住宅の「省エネ性能」の向上と併せた、アカマツ材等の利用促進が必要</p>	<p>1 <u>建築事業者を通じたデザイン提案の充実 (グリーン)</u> 建築事業者向けに作成した「I W A T E 県産木材 DESIGN BOOK」について、住宅の「省エネ性能」に関する情報を追加するとともに、掲載事例の入れ替えなどのリニューアルを実施し、施主に対する提案を充実</p>	<div><div></div><div></div><div></div></div>	
<p>【原木しいたけ産地の再生】 (現状) 新型コロナの影響による需要減少に伴い、価格が大幅下落 ⇒ (課題) 原木しいたけの販路拡大に向けた取組が必要</p>	<p>1 <u>海外販売に向けた商談支援</u> 株式会社裕源に生産者等が訪問し、台湾との直接取引に向けた商談を支援</p> <p>2 <u>国内の販路拡大支援</u> 首都圏・関西圏店舗での対面試食販売やインターネットの活用等により販路拡大の取組を支援</p>	<div><div></div><div></div></div>	